

「更生保護サポートセンター射水」は令和2年2月11日より

# 「救急薬品市民交流プラザ」 (旧 小杉福祉会館)へ移転!



お気軽に  
お越しください!

## 更生保護サポートセンター射水

〒939-0351 射水市戸波4200番地11  
救急薬品市民交流プラザ2階(旧 小杉社会福祉会館)  
〈新〉TEL:0766(95)5020 〈新〉FAX:0766(95)5021  
E-mail imizuhogoshikai@gmail.com ホームページ http://hogosi.com  
月曜日から金曜日/午前9:30~午後3:30まで  
※保護司が交代で常駐しています。



? 更生保護サポートセンターとは…  
保護司・保護司会が地域の関係機関・団体と連携しながら地域で更生保護活動を行なうための拠点です。更生保護サポートセンターでは、保護司の処遇活動の支援、関係機関・団体との連携、犯罪・非行の予防活動、更生保護関係の情報提供などを行なっているほか、保護司会の事務運営にあたっています。

いみずこうせいぼく

# 射水更生保護

発行編集 射水保護司会  
会長 江尻 昭

TEL 0766-51-6625  
〒939-0284  
射水市新開発410番1  
射水市福祉保健部  
地域福祉課内

### 射水保護司会の活動紹介

5月29日、射水市役所3階会議室で第69回「社会を明るくする運動」を効果的に進めるために、射水市推進委員会



犯罪や非行をなくすためには、どうすればよいのでしょうか。取締りを強化して、罪を犯した人を処罰することも必要なことです。しかし、立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことや、犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりをすることもまた、とても大切なことなのです。

立ち直りを支える家庭や地域をつくる。そのためには、一部の人たちだけでなく、地域のすべての人たちがそれぞれの立場で関わっていく必要があります。(法務省ホームページより)

毎年7月は「社会を明るくする運動」の強調月間「再犯防止」の啓発月間です。様々な活動が全国的に展開されています。

(委員長 夏野元志射水市長)が開催されました。

## 第38回射水市中学生生活体験発表大会

5月21日に射水市立新湊南部中学校で、第69回「社会を明るくする運動」の二環として、射水市中学生生活発表大会が開かれました。



▲発表者の皆さん

### 法務省主唱 第69回「社会を明るくする運動」

地域のチカラが犯罪や非行を防ぐ

◆体験発表者及び演題(発表順)

- 新湊中学校 3年 前野 夏輝
- 「GOOD LUCK〜みんなが幸せになるために〜」
- 小杉中学校 3年 牧野 心咲
- 「私」を歩み続ける」
- 大門中学校 3年 青柳 愛莉
- 「祖母の習慣」
- 小杉南中学校 2年 酒井 芙姫
- 「今を大事に」
- 射北中学校 3年 松尾 夏那
- 「助け合いの輪」
- 新湊南中学校 3年 越智 彩葉
- 「断る」

最優秀賞に輝いた大門中学校の青柳愛莉さんが、射水市代表として7月6日にホテルグランテラス富山で行なわれた富山県大会に出場しました。「祖母の習慣」と題して、堂々と発表し、(公社)富山県善意銀行理事長賞を受賞されました。

射水市作品コンテスト表彰式

3部門33名を表彰

11月23日、アイザック小杉文化ホールで、優秀作品の表彰式を行いました。応募総数966点(作文534点・ポスター214点・標語217点)。出品にご協力いただいた射水市内の小学校15校・中学校6校の皆さま、ご協力ありがとうございました。

表彰者名簿

◆作文の部

○射水市推進委員会推薦作品

- 小杉小学校 6年 中島みやび
- 歌の森小学校 6年 清水 了佑
- 新湊中学校 3年 魚 可奈
- 射北中学校 2年 小島 萌花
- 優秀作品
- 放生津小学校 6年 伏木 心菜
- 作道小学校 6年 谷川 千星
- 堀岡小学校 6年 大橋 優妃
- 大門小学校 6年 藤田 梨遙
- 下村小学校 6年 榎尾 四季
- 新湊南中学校 3年 三箇 莉果
- 小杉南中学校 2年 境 真也佳
- 大門中学校 2年 中村 千穂

◆ポスターの部

- 片口小学校 6年 建部 夏希
- 堀岡小学校 5年 笹林昂一郎
- 堀岡小学校 5年 宮本 結栞
- 小杉小学校 5年 松本 朱音
- 小杉小学校 5年 高倉 寿弥
- 歌の森小学校 5年 森田 暖都
- 太開山小学校 6年 本郷 詩
- 大門小学校 5年 藤井 庵史
- 下村小学校 6年 野口 未陽
- 下村小学校 5年 若林 沙英
- 大門中学校 2年 池原亜優実

◆標語の部

- 新湊小学校 3年 本郷 亜美
- 作道小学校 6年 林 このは
- 片口小学校 6年 織田歩未也
- 東明小学校 6年 山本 柊二
- 金山小学校 5年 高口 恵輔
- 歌の森小学校 4年 水上 敏樹
- 太開山小学校 6年 沼田 紗季
- 中太開山小学校 4年 大道 壮真
- 小杉中学校 1年 谷ヶ崎佳弥
- 大門中学校 1年 浅井 千晴



作文の部



ポスターの部



標語の部





海の日(7/15)に  
海王丸パークで  
街宣活動

毎年7月は「社会を明るくする運動」の  
強化月間・「再犯防止」の啓発月間です



社会を明るくする運動

射水市実施委員会・射水保護司会

**小学校で薬物乱用防止教室**  
薬物の怖さ伝え、断る勇気を！

射水保護司会は、平成25年度から毎年市内ライオンズクラブと共に市内14校で6年生を対象に(下村小学校は5・6年生で隔年)薬物乱用防止教室を行なっています。

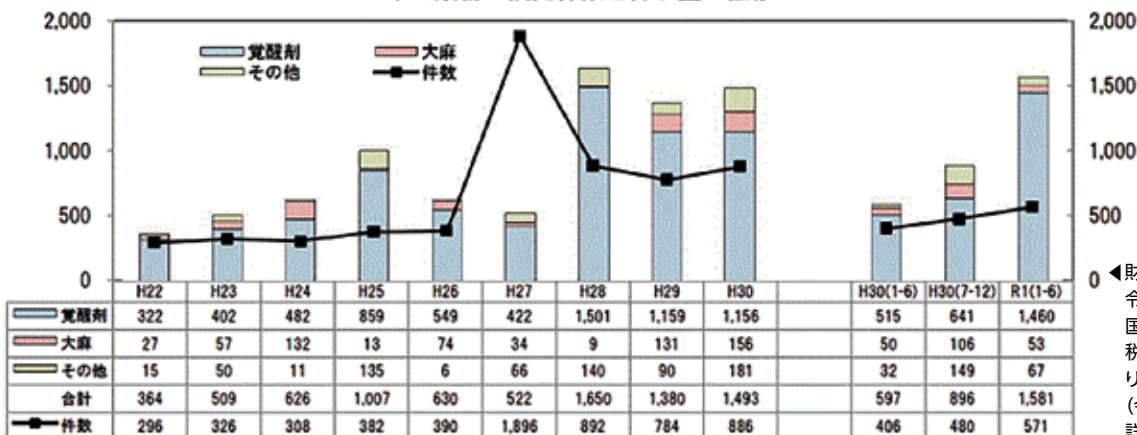
薬物乱用は、最初のたった1回が取り返しのつかない結果へとつながります。インターネットが生活のツールとして欠かせなくなった現代においては、小学生の目の届くところにも様々な情報があふれています。子どもたちが偏った知識を持ってしまいう前に、薬物乱用の真の恐ろしさを教えることで、将来、覚醒剤や危険ドラッグなどに手を出してしまいう人を1人でも減らし、子どもたちの未来を守ることを目的としています。



(摘発件数：件)

不正薬物の摘発件数と押収量の推移

(押収量：kg)



(注) その他とは、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう。なお、指定薬物は平成27年4月に「輸入してはならない貨物」に追加された。平成30年、令和元年の数値は速報値。

財務省資料  
令和元年上半期の全国の税関における関税違反事件の取締り状況  
(令和元年9月25日) 詳細



# 射水市更生保護女性会だより

## 更生保護制度施行70周年を迎えて

更生保護制度施行70周年記念全国大会が去る10月7日、東京国際フォーラムで、天皇后両陛下のご臨席のもと、またたくさんの来賓も出席され盛大に行なわれました。私も出席いたしました。

その折にいただいた天皇陛下のお言葉の一部をご紹介します。

「社会奉仕の精神と思いやりに基づいたこれらの人々の努力が、過ちを犯してしまった人の社会復帰と再犯防止のための力となり、平和で安全な社会をつくるために果たしてきた役割には、誠に大きなものがあります。」

「献身的に更生保護を支えてきた多くの関係者の努力に深く敬意を表します。」

「この70年にわたる歴史を通して積み重ねてきた良き伝統を引き継ぐとともに、皆さんが力を合わせてこの制度の一層の充実を図り、明るい地域社会の実現を目指して、更に貢献していくことを願い、大会に寄せる言葉といたします。」



このお言葉をいただいて、会場の更生保護関係約5,000人の出席者は感激と共に身の引き締まる思いでした。私も改めて先輩の方々の活動の苦勞と努力に感謝いたしました。

天皇陛下は誠に堂々とされておられ、皇后陛下の落ち着いた穏やかな中にも自信と決意が伺われる笑顔に励まされ、勇気をいただきました。：胸がいっぱいになりました。

私は、会員皆さまのおかげで貴重な体験をさせていただきました。日頃のご理解、ご協力にお礼申し上げます。

また、富山県更生保護女性連盟は、60周年を迎えました。この60年の実績が認められ、去る11月3日に富山県知事表彰(県功労)の栄に浴しました。この受彰は、富山県下各地区の更生保護女性会の過去、現在の会員皆さまのお力によるものです。ご報告と共に感謝申し上げます。

今後共、温かいご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

〈小井 孝子〉

## 全体研修会報告

師走にはめずらしく快晴となった12月15日、二口コミュニティセンターにおいて令和元年「全体研修会」が開催されました。今回のテーマは「認知症高齢者への接し方」ということで小杉爆笑劇団を招いて、劇団顧問の松浦佳紀氏の講演と三線演奏、そして劇団によるパフォーマンスや質疑応答など大変充実した内容となりました。

劇団による寸劇も、私達自身誰しもが当該者と成り得る可能性が考えられる認知症に関するテーマで、笑いの中にも要点がしっかりと押さえ込まれた内容であったこともあり、とても有意義な研修となりました。

今回学んだこと



今回学んだこと

を糧として、会並びに会員各々が地域における優しさの一助になれるよう会員の皆様と共に歩んでいきたいものです。

〈M.T〉



## 受賞おめでとうございます

- ◆日本更生保護女性連盟会長表彰  
草野 憲恵
- ◆中部地方更生保護女性連盟会長表彰  
竹内美律子  
眞岸 潤子  
久々江ます美
- ◆富山保護観察所所長感謝状  
石黒 朱美  
久野 迪子  
田嶋 睦子  
山崎 節子

## 手延べそうめん 販売収益の報告

お陰さまで、令和元年度も多くの方々のご尽力により、売上収益金を地区更生保護女性会の活動支援金に充当させていただきました。皆さまの多大なるご協力を心より感謝申し上げます。

そうめん売上収益金 169,650円

### 伝承遊びとペープサート なでしこの会(堀岡地区)

毎年、堀岡保育園の園児達とふれあいをしています。今年度は大型絵本「ぼんたのじどうはんばいき」をペープサートに作り変える作業をしました。タヌキ、ライオン、キツネ、サルと動物を昨年より大きく、かわいらしく15枚ほど描き、お互いに意見を出し合いながら練習に励み、演じました。

次に私達も童心にかえり一緒に体を動かしお手玉、こま回し、あやとりをしたり、輪になって「ずいずいずころばし」を大きな声で歌いながらゲームをしました。

子どもたちとのふれあいを通して、地域の宝、子どもたちをそつと見守れることの素晴らしさを感じました。

〈M T〉



ママ友活動

サラちゃんに「黄色いリボンの髪飾り」をプレゼントしたのは更生保護女性会員のオコジョさんです。

### 養得園給食活動

12月5日、放生津地区担当で養得園の給食活動を行いました。養得園が改築されてから初めて行なう給食活動に少々不安を抱いていましたが、初冬と言うのに雲つない晴天に恵まれ、雪をいただいた雄大な立山連峰がそんな私達を応援してくれているかのように、ドライブを楽しみながら向かいました。

今回、参加者は3人と少ない人数だったのと、1日は使いくいかもしれない不安から、入念に打ち合わせをし、役割分担をして家で作れるものは作っていました。メニューは、温かいご飯、味噌汁、コロッケ・肉団子、ポテトサラダ野菜添え、ふるふき大根ゆず味噌添え、きゅうりとセロリのタコ酢和え、漬物、みかんです。



高年齢者もいらっしやるとお聞きしていたので、柔らかいものを中心に家庭の味を意識して作りました。挨拶に来られた入所者の方が、歯の事情が良くない方だったこともあり、柔らかい食材にして良かったと安堵しました。



配膳を終えた後、施設内を案内してくださいました。新しい養得園は、とても明るく温かい雰囲気にも包まれた印象を受けました。調理室や食堂は衛生管理が行き届き、居室やお風呂、集会室も清潔で明るく、また、地域交流室も作られ、入居者の人権に配慮された施設になっていました。

今回入所者は18名で、来月には20名マックスを受け入れるとのことでした。居心地の良い素晴らしい施設で自立更生に努めていただきたいものです。

私たちの活動により、社会の温かさを感じ取ってもらい、スムーズに社会復帰できる一助になれば幸いだと思います。(放生津地区)



▲調理室



### 射水市更生保護女性会だより



# 研修旅行報告

研修部会長 瀧内 一雄

10月18日・19日の両日、一年おきに行なっている県外研修で愛知県岡崎医療刑務所へ行ってきました。保護司会と更生保護女性会の会員25名の参加がありました。これまで一般刑務所や少年院、刑務所の新しい形態である社会復帰促進センターを訪問してきましたが、医療刑務所は初めての訪問でした。インターネット等で少しは事前勉強をしていたつもりでしたが、まったく未知の刑務所でした。

訪問してまず驚いたのは、刑務官と白衣を着た医師、看護師の方が一緒に勤務されていることでした。治療室、レントゲン室も完備されており、病院に来たかのように錯覚を覚えました。所長は医師です。精神障害者、知的障害者に加え義務教育未修了者の受刑者も入所しているため、一般刑務所では考えられないご苦労がたくさんあることが伺えました。

年々高齢化が進み、要介護者が増え、日常生活がままならぬ受刑者でありながら患者でもあるため、社会復帰に向けた援助を目的とした働きかけは極めて重要として、精神療法、薬物療法、生活療法を積極的に取り入れているとのことでした。精神療法の一環として人間本来の喜びである

土に親しむ作業は精神的不安や緊張を和らげる治療効果が大いに期待できるため園芸や窯業を積極的に取り入れているとのことでした。受刑者が製作した皿等はとても出来が良く、参加した皆さんは数多く購入されていました。担当の刑務官は以前富山刑務所で勤務経験があり、とても親切丁寧に説明していただき、熱心な質疑応答で予定時間を越えるほど有意義な視察研修でした。



▲岡崎医療刑務所

# 退任によせて

多賀 正夫

平成13年秋、保護司会事務局長の訪問を受けました。保護司への勧誘です。若くして病に倒れた父が保護司でもあったので、使命感も感じてお引き受けしました。

長く担当したのは女性対象者の生活環境調整でした。対象者との頻繁な手紙のやりとり、事件前後を「地獄の生活」と言いながらも、「私の娘ですから」引受人になるという母の強い意志。親子の幸せを願い、観察官とも相談を重ねたのですが、生活を共にということとは難しく結局は施設で引き受けてもらうことになりました。

保護司会の犯罪予防活動、「中学生生活体験発表会」では審査員にも加わらせていただきました。障害がテーマになることもあり、心の痛みを感じることもありました。子どもたちが声を掛け合い、またなにげない一言で立ち直り、成長していく姿はまさしく感動であり、明るい社会を期待させるものでありました。

10周年記念事業シンポジウムの開催。無我夢中、手探りの状態で進めましたが多くの皆さんにお力添えをいただきました。ただただ感謝です。

サポートセンターは2月に移転されました。より広いコミュニケーションの場で新しい発想が生まれることを期待しています。

「いい時代を生きてきた」われわれ世代が二様に口にする言葉です。保護司の仲間に加わったことで人生の豊かさが増しました。保護観察所の皆さま、保護司、事業関係者の皆さま、ご指導、ご鞭撻ありがとうございます。

これからの皆さまがたのご活躍、ご発展をお祈りします。

## 保護司の異動(敬称略)

### ◆新任保護司

(令和元年12月21日付)

杉浦 敬美 西島 剛

野手 正隆 鷺本 祐大

### ◆退任保護司

五十嵐繁久 池内 興舟

澤田 優子 多賀 正夫

室田 清一



# 部会活動報告

## ◆ 総務部会

総務部会は理事会（正副会長・各正副部長で構成）を兼ねて職掌し、研修・保護観察、地域活動、協力組織、学校、広報の部会が掌握しない行事や事務および関係機関との連絡調整を行なっています。

毎年7月、法務省主唱「社会を明るくする運動」強調月間・再犯防止啓発月間にあたり、首相・知事メッセージを会長が読み上げ、市長と市議会議長に伝達しています。



人はみな、生かされて生きてゆく。  
更生保護ネットワーク

## ◆ 研修・保護観察部会

保護司活動が以前に比べ多様化し、

サポートセンターの運営、薬物乱用防止教室の開催など保護司の役割が増えています。

これまで会の運営の中心を担ってこられたベテラン保護司が複数退任されました。執行部、研修部会合同で新任保護司研修会を行ない、保護司会活動に早く慣れてもらうための意見交換会等を予定しています。今年度から保護区ごとの定例研修会が4回から3回に減つたため、保護司同士の交流も考え、これまで以上に引き続き定例研修会終了後に自主研修を開催し、保護司の皆さんにフリーテーマで話をしていただきたいと考えています。自主研修の企画にご協力いただきますようお願いいたします。

## ◆ 学校部会

5月に中学生生活体験発表大会を新湊南部中学校で開催しました。市内6中学校の6名が家庭・学校・地域での生活の中で体験したことをもとに思いや考えを発表しました。その発表内容・態度は、共に立派なものでした。

11月に作品コンテスト表彰式をアイザック小杉文化ホールで開催しました。非行や犯罪のない社会をテーマに小・中学校から募集した作文、ポスター、標語の優秀作品に、夏野射水市長より賞状と賞品が贈られました。

また、市内各小学校の児童を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。この活動は薬物乱用防止啓発活動推進の一環として、ライオンズクラブと連携して行なっています。

今後とも、学校の協力を得て、息の長い犯罪予防活動に努めていきたいと思えます。

## ◆ 地域活動部会

海の日7月15日、海王丸パークで第69回「社会を明るくする運動」強調月間・再犯防止啓発月間の街頭宣伝活動を実施しました。保護司会員、更生保護女性会員などたくさんの方々に参加いただき、無事地域活動部会の活動を終えることができました。

今年の活動にあたり、時間を厳守し、9時集合、10時までに男性は上り旗を立て、女性は啓蒙グッズの袋詰めをお願いします。準備が整ってから江尻会長の挨拶を受け、記念写真を撮ってから全員で啓発活動を展開していただきました。ご協力ありがとうございました。

## ◆ 協力組織部会

12月12日、富山市婦中ふれあい館において、令和元年度保護司会・更生保護女性会・BBS会連携強化研修が実施されました。三団体が相互に理解を深めるとともに、相互連携の在り方

について検討・協議することを目的として開催されています。

本年度は、更生保護女性会の活動について理解を深める機会として、12地区の更生保護女性会から各地区の活動について発表がありました。各地区ともミニ集会、子育て支援活動、更生保護施設支援活動を大きな柱として実施しながら、地区の特色を活かして保護司と連携しての「あいさつ運動」や中学生との対話集会、民生児童委員との合同研修実施の報告がありました。

今後の課題としては、会員の確保が重要であり、そのためには活動を地域の方に理解していただく必要があること、他の団体との交流も通して地道に活動することが大切であると総括されました。

## ◆ 広報部会

- 4月23日 広報部会
- 6月5日 県広報編集委員会
- 7月1日 射水更生保護第27号発行 全戸配布（A4両面・カラー）
- 10月11日 県広報編集委員会
- 12月6日 広報部会
- 12月16日 県広報編集委員会
- 1月17日 県広報編集委員会
- 1月28日 県「広報部会」協議会
- 1月末 作品集発行
- 2月末 射水更生保護第28号発行
- 3月25日 県広報編集委員会



射水保護司会事務局日誌

4月23日	保護司会定期総会	11月25日	薬物乱用防止教室(新湊小)
5月21日	中学生生活体験発表大会 (新湊南中学校)	12月10日	県保連「総務部会」協議会
5月29日	第69回「社会を明るくする運動」 射水市推進委員会	12月12日	薬物乱用防止教室(作道小) 保護司・更生保護女性会・ BBS会三者連携強化研修会
6月7日	射水地区更生保護協力雇用主会総会	12月23日	新任保護司辞令伝達・研修
6月11日	第1期定期研修・自主研修	〈令和2年〉	
7月3日	首相・知事メッセージ伝達式	1月15日	薬物乱用防止教室(片口小)
7月6日	県中学生生活体験発表大会	1月16日	薬物乱用防止教室(太閤山小)
7月9日	薬物乱用防止教室(塚原小)	1月21日	薬物乱用防止教室(小杉小)
7月15日	「社会を明るくする運動」 街宣活動(海王丸パーク)	1月24日	薬物乱用防止教室(堀岡小)
7月16日	射水市更生保護協力会総会	1月28日	県保連 広報部会協議会
7月18日	薬物乱用防止教室(東明小)	1月29日	薬物乱用防止教室(中太閤山小)
7月27日	富山県更生保護フエアin砺波	2月3日	薬物乱用防止教室(下村小)
8月23日	県保連「研修部会」協議会	2月7日	薬物乱用防止教室(大島小)
9月7日	作品コンテスト選考会	2月7日	サポートセンター引越作業
9月11日	県保連「協力組織部会」協議会	2月8日	サポートセンター
9月12日	県保連事務担当者等協議会	2月12日	市民交流プラザ2階に移転
9月17日	第2期定期研修・自主研修	2月12日	薬物乱用防止教室(歌の森小)
9月30日	更生保護協力会会員企業訪問	2月22日	江尻昭氏受章祝賀会
10月7日	更生保護制度70周年記念 全国大会 式典	3月3日	第3期定期研修・自主研修 新任・退任保護司歓送迎会
10月17日	中部地方保護司代表者協議会	3月10日	第4回理事会
10月18日	県外視察旅行	3月21日	新任保護司研修懇談会
10月23日	保護司指導力強化研修	3月24日	企画調整保護司打合せ会
11月6日	更生保護制度70周年記念中部大会	4月3日	令和元年度会計監査
11月22日	第49回富山県更生保護大会		※この他年4回の理事会と年12回の三役会を 開催しています。
11月23日	市作品コンテスト表彰式		

令和元年度 受彰者名簿

- ◆叙勲
  - 瑞宝双光章(秋) 江尻 昭
  - ◆褒章
    - 藍綬褒章(秋) 寺腰 健一
    - 法務大臣表彰 多賀 正夫
  - ◎中部地方更生保護委員会委員長表彰
    - 池内 興舟
    - 片林 政敏
    - 熊谷 正克
    - 栗原 彰
    - 澤 英明
    - 山本 雅幸
  - ◎中部地方保護司連盟 会長表彰
    - 小杉 一彦
    - 佐伯日登美
  - ◎富山保護観察所長 表彰
    - 五十嵐枝折
    - 池松 光春
    - 表 隆夫
    - 河畑富美子
    - 中田 政一
    - 林 美貴子
    - 平野 洋子
  - ◎富山保護観察所長 感謝状
    - 熊谷 正克
    - 澤 英明
    - 堀 浩昭
    - 山本 雅幸
    - (家族功労)
    - 佐賀 功
  - ◎富山県保護司会連合 会長表彰
    - 高木 秋生
  - ◎射水市社会福祉協議会 会長表彰
    - 永森 直人
    - 松長ますみ
    - 安田久実代
    - 塚本 秀樹
    - 廣瀬 秀昭
    - ◆危険業務従事者叙勲
      - 瑞宝双光章 山崎 次平



編集後記

更生保護サポートセンター射水は、平成24年8月22日、旧大門庁舎車庫棟2階に設置されて以来7年余、現役保護司のみならず、退職された先輩保護司にも支えられ運営されてきました。この度、市のご厚意により2月11日より救急薬品市民プラザ(旧小杉福祉会館)2階に移転いたしました。

来年度は「社会を明るくする運動」が第70回を迎えます。サポートセンターがこれまでの活動を堅実に継続し、より一層保護司会員が集い、学び合い、更生保護の輪を広げる場所となるようにと、思いを新たにしています。

林記